

令和4年5月20日

受験者の皆様
関係各位

奈良女子大学長
今岡春樹

令和4(2022)年度奈良女子大学一般選抜前期日程における
採点ミスについて(お詫びとお知らせ)

令和4年2月25日に実施しました令和4(2022)年度奈良女子大学一般選抜前期日程における理学部、生活環境学部及び工学部の理科(物理)の試験において、採点ミスがあったことが判明しました。採点ミスの内容と対応を下記のとおりお知らせいたします。この度のミスにより、受験者の皆様及び関係者の方々に多大なご心配をおかけいたしましたこと、深くお詫び申し上げます。

本学といたしましては、今回の事実を厳粛に受け止め、今後このようなことが発生しないよう、再発防止に万全を期する所存です。

記

1. ミスが生じた入試方法区分, 試験科目
令和4(2022)年度奈良女子大学一般選抜(前期日程)
理科(物理)
2. 対象となる学部・学科
理学部 数物科学科
理学部 化学生物環境学科
生活環境学部 食物栄養学科
生活環境学部 心身健康学科
生活環境学部 住環境学科
生活環境学部 文化情報学科
工学部 工学科

3. 採点ミスの内容

問題 I 問 2 (2) (問題原文は別紙のとおり)

(誤) $\mu' mgl$

(正) $-\mu' mgl$

「動摩擦力がした仕事」を問い、「 $-$ (マイナス)符号」のついた答を正解として問題を作成していましたが、採点時に使用した採点基準(正解例)に誤りがあり、「 $-$ (マイナス)符号」がついていないものを正解とし、「 $-$ (マイナス)符号」がついているものを1点※減点していました。(採点ミスがあった問題の配点は5点※でした。)

※素点であり、150点満点中の点数です。この点数を各学部の配点に合わせ計算した傾斜点を合否判定に用いています。

4. 採点ミスへの対応

理学部、生活環境学部及び工学部の受験者のうち理科(物理)選択者合計171名の答案を正しい採点基準(正解例)に基づき再採点を行いました。再採点の結果により各学部の合否判定資料を再作成し、理学部、生活環境学部及び工学部にて合否再判定した結果、当初の合否判定結果(令和4年3月6日合格発表)に変動は無く、追加合格はありませんでした。

以上

【本件担当者連絡先】

奈良女子大学 入学課 学部入試係

TEL : 0742-20-3353

FAX : 0742-20-3354

E-mail : nyusika@jimu.nara-wu.ac.jp

【別 紙】

問題文 問題 I 問 2 (2)

問 2 図 2 のように、図 1 の斜面に摩擦がある場合を考える。点 A'_1 に質量 m の小物体を置いて静かにはなすと、小物体は点 A'_1 から初速 0 で動きはじめ、斜面上を運動し、点 B'_1 に達した。ただし、斜面と小物体の間の静摩擦係数を μ 、動摩擦係数を μ' とする。

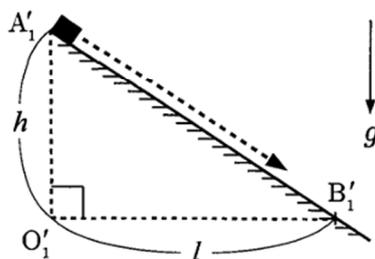


図 2

- (1) 小物体が動きはじめるために、静摩擦係数 μ が満たすべき条件を求めよ。また、小物体が斜面上を動いているときの動摩擦力の大きさを求めよ。
- (2) 点 A'_1 から点 B'_1 に達するまでに、小物体が受ける動摩擦力がした仕事を求めよ。
- (3) 点 B'_1 での小物体の速さを求めよ。